



ありがとうの手紙

先月、私は誕生日を迎えた。もう誕生日がうれしい歳ではなくなつたし、そろそろ人生の折り返し地点に来たのかなと思つた。今までを振り返ると、両親が私にしてくれたことが頭の中に浮かび、いろいろと心配もかけたし、



那賀川町
東 佐緒利さん

たくさんのことをしてくれたんだなあと思つた。これに気付けたのも小学1年生と幼稚園児の息子たちのおかげ。親になつて子育てに苦労して、初めて親の苦労が分かつた。字を覚え始めた次男が、最近よく手紙をくれる。「ママだいすき。ありがとう」と。そこで、私も両親に感謝の手紙を書くことにした。小さい頃から私にしてくれたことな

どを思い出しながら、「素直でなくてごめんね。甘えさせてもらつてばかりでありがとう」と。

自分の気持ちを書けてすつきりしたが、手紙を渡す時は想像以上に緊張した。大人になつて初めて書く手紙だったから。感謝の手紙なんだから素直に渡せばいいだけなのにと自分でも苦笑した。受け取つた両親もびっくりして、

照れもあつてか手紙のことには触れない。それも私を理解してくれている証拠だと思ふ。

残りの人生に悔いがないように、親孝行もしたいし、家族や周りの人に感謝しながら生きたいと思ふ。今までたくさんの人に支えられて生きてきたのだからまずは、教えてくれた子どもたちに、ありがとうの手紙を書かなくちゃいけない。

次は、長生町の倉橋三枝さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌大会選

佳作

小庭辺に咲き揃いたる風信子ひやしんす「かごめかごめ」の声ひびかせて

福岡 孝子

佳作

骨壺と帰りたる家母の名の書かれしパジャマ新しくあり

木内 照代

佳作

退職し家族農業守らんと田に向かう息子の背に揺ぎなし

香川ミヨ子

佳作

少子化を危ぶむ日本の軒下に子燕四羽はばたき始む

宮本久美子

佳作

ほっこりと栗ご飯たく君という窓より一羽のヒタキがのぞく

山西 成彬

佳作

おりふしの季の花さわに活けられて父母義兄の仏間哀しも

棚野 久子

佳作

それぞれの主張のさまに花咲きて春はいつせい鼓動はじむる

吉谷 富穂

俳句

阿南市俳句連合会選

横手 久典

靖国に誓う平和や終戦忌

鳴く蝉の今日を限りの声かとも
河野千枝子

悠久のいのち触れ合ふ盂蘭盆会
山野 賢治

塀に並ぶ刈田雀のひと休み
撫養 浪路

炎天の馬小屋日がな音たてず
鎌田 秋穂

すれ違う人皆優し夏の山
数藤 恵子

逝きし子の声なき声や盆の月
田口 恵水

夏祭りファンタジーの夜裏通り
寿田 淳乃

自画像は学生時代白緋
島 玲子

終便のバスのフックに夏帽子
藤田 慶子

川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

すげ笠の中におります阿波女
橋本 征介

コウノトリふわり我が家も来て欲しい
岡本 福笑

羅針盤などはいらぬ夫夫婦舟
西田 修身

抜け毛手に戻らぬものの捨てがたい
佐藤つたえ

レディです心の化粧忘れぬ
臣守 愛香